

聖さを求める教会

コリントの信徒への手紙Ⅱ七章1〜4節

愛する人たち、私たちは、このような約束を受けているので
すから、肉と霊のあらゆる汚れから自分を清め、神を畏れ、
完全に聖なる者となりましょう。(一)

コリント教会の中には、罪の赦しを誤解し、どうせ罪は赦されるのだからと放
縦の生活をしているキリスト者がいました。教会もそのような人たちの逸脱を容
認し、野放しにすることを愛による寛容であるかのように考える甘さがありまし
た。キリストの十字架の犠牲の大きさと、私たちが生ける神の宮にされたという
恵みを思うとき、神をあなごるような態度をパウロは容認することが出来ません
でした。教会が第一に求めるべき聖さは、自分たちの教会の中から不信仰、不道
徳の汚れを取り除こうとすることです。この世にあって、罪の腐敗を防ぐ地の塩
としての役目を果たすために、教会は自らの内にある腐敗を取り除かなければな
らないのです。聖さ(ホーリネス)を掲げる教団の教会として、神が願っておら
れる聖さを追い求めることを忘れない私たちの教会でありたいと願います。